



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「新しい科学」

- ・理科に関する基礎的な知識を獲得するとともに、科学的思考力を培う。
- ・理科（自然科学）の各分野に興味・関心を持ち、その中から問題を見出す力を培う。

2 授業の進め方

- ・教科書の内容を中心に授業を進める。講義型に偏らず、ICT 機器を用いた双方向の授業を展開する。
- ・テーマごとに課題プリントや補助プリントを用意し、思考力・判断力・表現力を養う。
- ・生徒実験や演示実験、視聴覚教材などを通して内容の理解を深める。
- ・発表の場を多く用意し、学び合いを大切にする。
- ・web 教材（スタディサプリ等）を利用し、反転学習を行う。

3 学習上の留意点

- ・授業では先生の説明を聞き、積極的に参加する。
- ・実験・観察の記録は正確に行う。
- ・配付されるプリントや章テストはファイルにとじ、いつでも見ることができるようしておく。
- ・実験や観察では、先生の指示に従い、安全に配慮して積極的に取り組む。
- ・ノートの見直しをしたり、解けなかった問題に再度取り組む。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・スタディサプリ
- ・ノートや章テストの振り返り

5 単元テスト

- ・小単元ごとにテストを実施する。（年12回）
- ・各100点満点とする。
- ・知識を問うだけでなく、知識を活用した思考力・判断力・表現力を問う問題を含む。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	実験・観察の記録 事物・現象の基本的な概念	実験・観察から考察 実験・観察の立案	授業に進んでかかわる 授業に見通しをもったり、振り返っている
方法	ノートの記述分析 授業の発言分析	ノートの記述分析 授業の発言分析	授業の行動観察 ポートフォリオの取り組み

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> 花の構造を理解する。 生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類するかを理解する。 原子・分子の概念を理解する。 重要な元素記号を覚える。
	5	第2章 植物の分類		
	6	第3章 動物の分類		
	7	単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質 第2章 気体の性質		
2 学期	8	単元2 身のまわりの物質 第3章 水溶液の性質 第4章 物質の姿と状態変化 単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界 第2章 音の世界 第3章 力の世界	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> 状態変化を粒子で説明できる。 再結晶の原理を理解する。 光の進む道筋を調べ光の性質について理解する。 レンズの仕組みを理解する。 音の高さや大きさの関係性を理解する。 物体にはたらく力を見だし図示することができる。 物体にはたらいっている力のつり合いについて理解する。
	9			
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地 第3章 地層から読みとる大地の変化	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> マグマの性質と火山の形にはどのような関係があるか理解する。 堆積岩・火成岩の観察とスケッチを通して特徴を理解する。 地震発生の仕組みを理解する。 地層から堆積当時の状態を推測する。 防災に関する意識を高める。
	2			
	3			